

平成26年度 糸魚川市教育課程部 活動報告

部長 池田 修

1 糸魚川市教育研究会の活動方針と組織

糸魚川市では、市内の小・中学校、特別支援学校の教職員で「糸魚川市教育研究会」を組織して、教育実践に努めるとともに糸魚川市の学校教育の振興を図っている。研究推進の組織は、各教科等（10）、道徳、特別活動、保健、栄養、事務の15部会（全会員が1人1部会所属）の他に、キャリア教育、学校図書館、生徒指導、へき地・複式、情報教育、特別支援教育、人権・同和教育の7部会の合計22部会で構成している。その中には、教育課程部会は設けられていない。

2 糸魚川市子ども一貫教育に基づく「ジオパーク学習の充実」に向けた取組

糸魚川市教育委員会では、平成22年度に「子ども一貫教育基本計画」を作成して、翌年度から各校及び中学校単位での実践的な取組を行っている。「ひとみかがやく日本一の子ども」を目指して、「健やかな体の育成」「豊かな心の育成」「確かな学力の育成」「特別支援教育の充実」「ジオパーク学習の充実」の5つの分野を掲げている。その中の「ジオパーク学習の充実」では、ふるさと糸魚川への愛着形成を図ることを目的にして、各園・学校の実態に合わせた体験・学習活動に積極的に取り組んできた。

(1) 市内小・中・高等学校によるジオパーク学習交流会

各校のジオパーク学習内容を発表し合う「糸魚川ジオパーク学習交流会」を毎年行っている。今年は11月20日（木）に、ビーチホールまがたまを会場にして、小学校13校、中学校2校、高等学校1校が参加して、市制施行10周年記念事業の一環として実施された。参加児童・生徒だけではなく、教育委員などの市役所職員、保護者、地域住民など多くの人々から、各校の取組を知ってもらってもよい機会となっている。

(2) 教科の学習とジオパークとを関連付けた副読本や資料の作成とその活用

理科学習の副読本として、平成23年度には、「小学校5・6年生用のジオパーク理科副読本」を、翌年には「3・4年生用のジオパーク理科副読本」と「世界ジオパークまると糸魚川資料集」を作成して児童・生徒と教職員に配布した。現役の教職員が中心となり、大学教授や地元の関係者などの協力を得て作成した副読本と資料集は、理科や社会科、総合的な学習などに有効活用されている。

(3) 糸魚川市ジオパーク推進室と連携した「ジオ給食」や「中学生香港派遣」の実施

食育の一貫として、各校独自に地元の食材や食文化を取り入れた「ジオ給食」を実施している。また、世界ジオパーク姉妹都市である香港への中学生派遣事業は、香港ジオパークを見学することで、身近にある糸魚川ジオパークの素晴らしさを再認識し、異文化に接することで国際感覚を磨くことを目的としている。今年は、8月21日から8月25日までの5日間、市内4中学校の中学3年生31名が参加して実施された。

3 成果と課題

今年度から、県教委の学校教育の重点に「ふるさとへの愛着や誇りを育む教育活動の充実」が示された。糸魚川市は、4年前からふるさと糸魚川への愛着形成を図ることを目的として、上記のようにジオパーク学習の充実に努めてきた。その結果、全国学力・学習状況調査では、「地域の行事に参加する」子どもの割合が多く、総合的な学習に対して肯定的な回答をする子どもの割合は大変高くなっている。また、2年前に実施された調査の理科学力は、他教科に比べて小・中学校ともに高かった。このことは、各校のジオパーク学習への積極的な取組と理科副読本等の有効活用による成果と考えている。